

令和5年度 学校評価アンケートのまとめ(児童・保護者評価)

※数字は、アンケートの回答(A そう思う B どちらかといえばそう思う C どちらかといえばそう思わない D 思わない)のうち、AとBの合計の回答者の割合。

質問内容		AとBの割合				分析と今後の指導の方向性
		低	中	高	全体	
1	児 学校へ来るのが楽しいですか。	93.8	91.7	93.2	92.9	児童・保護者ともに、全体の9割近くが学校を楽しんでいるのは良い傾向です。また、昨年度と比較すると若干ですが数値が上がっています。しかし、否定的な評価をしている数名の児童もいます。しっかりと理由を把握・検証し、観察やアンケート等から児童の声を丁寧に聞き取り、保護者と連携しながら、その子に寄り添った指導を継続していきたいと考えます。
	保 お子さまは、学校へ行くのを楽しんでいると感じていますか。	100.0	100.0	95.0	98.0	
2	児 あいさつをよくしていますか。	93.8	91.7	93.2	92.9	4月からあいさつができる学校を目指し、取り組んできました。児童の業93%以上が挨拶ができているという評価ですが、保護者の肯定的な評価の割合は86%と昨年度よりも若干下がっています。児童会を中心に校内での挨拶運動を積極的に取り組んだりしていますが、地域や家庭でもしっかりとあいさつができるよう家庭と学校が連携を図り、児童の意識を高めています。
	保 お子さまは、よくあいさつをしていますか。	79.3	100.0	80.0	86.1	
3	児 正しいことばを使おうとしていますか。	93.8	97.2	97.7	96.4	児童の96%が正しい言葉遣いができているとの評価ですが、もっと言葉を大切にしてほしいと考える保護者との乖離が見られます。学校としても挨拶とともにコミュニケーションの基盤である言葉遣いについて、授業だけでなく、日常生活の中での指導の必要性や重要性を感じています。まずは周囲の大人が丁寧な言葉遣いをすることが大切であることを踏まえ、保護者の方とともに環境づくりを進めたいと考えます。
	保 お子さまは、正しい言葉づかいができていますか。	65.5	87.5	77.5	77.2	
4	児 すすんで学習に取り組んでいますか。	96.9	94.4	88.6	92.9	全体的に児童の評価は高いですが、保護者から見た児童の学習意欲は少し低めである結果となりました。今後も、自ら学び続ける児童の育成を目指して、学習する動機付けや好奇心をかき立てたり、やる気を引き出したりする工夫をするなど、児童の興味・関心・意欲を高めるための教師側の授業改善とともに、自主的・自発的な家庭学習の定着に向けた取組を進めています。
	保 お子さまは、意欲的に学習に取り組んでいますか。	79.3	93.8	90.0	88.1	
5	児 決まりや約束が守れていますか。	93.8	100.0	90.9	94.6	児童、保護者とも9割以上の高い評価であり、この素晴らしい意識を継続できるよう指導を続けていきます。規範意識は社会に出た時のことを考え、望ましい言動を具体化しながら正しく思考・判断できるよう、家庭や地域と連携しながら育てていきたいと思えます。また、スマホ・ゲーム機の使い方等、生活全般にわたってのルールを守ることの大切さも児童の心に響くように指導します。
	保 お子さまは、決まりや約束を守ろうとしていますか。	93.1	100.0	95.0	96.0	
6	児 友だちに親切にし、仲間はずれをしないで仲よくしていますか。	96.9	97.2	100.0	98.2	「すべての人たちを大切にす日本一の学校」をスローガンに「シトラスリボンプロジェクト」や「みんななかよし集会」等、児童会を中心とした仲間を大切にす取り組みを実施してきました。道徳を中心とする授業以外にも、人権やいのちの大切さ、思いやり等について、しっかりと考える時間をもてるようにしています。教職員についても、細かな教育的配慮ができるように、引き続き関係機関と連携しながら様々な研修を行います。
	保 お子さまは、友だちに親切にし、差別なく仲よくしていますか。	96.6	93.8	100.0	97.0	
7	児 家庭学習やテレビ・ゲーム・スマホ・インターネット、遊びなど、時間を決めてしていますか。	84.4	83.3	72.7	79.5	全体的に8割近くが時間を決めた利用ができているが、児童にとって誘惑の大きいものですが、多くの家庭でルールを守ろうと努力している様子が見えます。ただ、高学年の児童、保護者ともに肯定的評価の低さが気になります。今後も本校の生活指導の重点課題と位置づけ、脳の成長と生活習慣について指導を充実させ、ご家庭でもお子様と決めたルールを再度確認の上、使い方について話し合ってくださいますようお願いいたします。
	保 お子さまは、毎日、家庭学習、テレビ・ゲーム・スマホ・インターネット、遊びなど、時間を決めてしていますか。	75.9	93.8	60.0	75.2	
8	児 自分のことが好きですか。	81.3	80.0	88.6	83.0	肯定的な評価は、全体の8割を超え、昨年と比較すると3ポイント程度上昇しました。「なかよし班活動」や「みんなを知ってQ集会」、「来住っ子ハート郵便局」など自尊感情を高める活動を通じて意識が高まったものと考えます。ただ、まだ2割もの児童が課題を抱えているため、児童に寄り添いながら、自尊心や人権意識を高める取組の深化を目指していきます。
	保 お子さまは、自分のことが好きですか。	93.1	93.8	97.5	95.0	
9	児 学校であったこと(学習や生活、行事のことなど)を、家の人に話していますか。	84.4	85.7	90.9	86.6	児童・保護者ともに家庭での会話の重要性に対する意識が高いことがうかがえます。児童の発達段階での特徴や保護者の仕事等の忙しさにより、会話する機会を設けることが難しいかもしれませんが、親子の会話やスキンシップが児童の健全な成長に密接に関係していることを引き続き啓発していきます。
	保 お子さまは、学校であったことを話していますか。	100.0	93.8	90.0	94.1	
10	児 バランスのよい朝ごはんをしっかり食べ、給食を残さないようにしていますか。	90.6	91.7	88.6	90.2	小野市が取り組んでいる脳科学の理論では脳を鍛えるためには朝食の重要性が謳われています。1割の児童が否定的な評価を示していることから、バランスのよい朝ごはんが、児童の夢や希望をかなえることに直結していくことを啓発しつつ、食育とひまわりカードへの取組の充実を図って意識の向上に努めていきます。ご家庭におかれましても、朝食をしっかりとして学校に登校できるよう、ご協力をお願いします。
	保 バランスのよい朝ごはんをしっかり食べさせ、食事では偏食しないように工夫していますか。	79.3	87.5	77.5	81.2	
11	児 毎日の勉強で、力がついているように思いますか。	96.9	100.0	93.2	96.4	学力向上に向けた学校の取組については、児童・保護者ともに大変高い評価を得ています。主体的・対話的で深い学びを実現させるために、トリプルスタディや発表が絡み合う発言の工夫などを活用しながら取組を進めており、今後もクロームブックなどのICTを効果的に活用しながら、一人ひとりを大切にすみんなが分かる授業づくりを推進し、児童の学力向上を目指していきます。
	保 学校は、情報機器の活用やすみのタイム(おの検定・読書・音読)などの学習を通して、学力向上に努めていますか。	96.6	100.0	97.5	98.0	
12	児 田んぼの学校や、夢かなの時間、英語学習などは楽しいですか。	100.0	97.2	95.5	97.3	本校の特色である「田んぼの学校」は児童・保護者ともに高く評価されており、意識も高いことが伺えます。今後も、来住の地域性を生かし、地域・家庭・学校で連携をとりながら、児童にとって魅力的な授業や活動を創造していきます。また、夢かなの授業において、キャリア教育を充実させ、変化する社会の中で、子どもたちが希望を持って、自立的に自分の未来を切り拓いて生きていくための力を育てていきます。
	保 学校は、田んぼの学校や夢かな学習・外国語学習などで、子どもの興味を高め、工夫した学習に努めていますか。	96.6	100.0	97.5	98.0	
13	児 中学生が、マラソン大会でいっしょに走ってくれてうれしかったですか。また、中学校の先生との学習(出前授業)や、中学生・市場小の児童との交流は楽しいですか。	100.0	91.7	100.0	97.3	新型コロナウイルス感染症対策のため、一時中止していた市場小、小野南中との交流は、マラソン大会の中学生の参加をはじめ、少しづつではありますが、戻りつつあります。9か年を見通した子供たちの学びを重視し、小中一貫教育目標「ふるさとを愛し、世界に学び、未来を切りひらく児童生徒の育成」の達成に向け充実させていきます。また、その活動が保護者をはじめ地域の方々へも広報誌「いきな」や学校ホームページを通じて積極的に情報発信に努めていきます。
	保 学校は、小中一貫教育(出前授業・児童生徒会交流・小小連携・マラソン大会の中学生併走等)で、9か年を見通した子どもたちの学びに取り組んでいますか。	96.6	100.0	95.0	97.0	
14	児 スーパーアドバイザー(地域の匠など)の先生といっしょにする学習は楽しいですか。	96.9	97.2	95.5	96.4	きずみの菅農さんをはじめ、以前からお世話になっているゲストティーチャーに加え、プラモデルなどの製作といった以前にはなかったゲストティーチャーを招いての活動も実施してきました。やはり専門的な知識を有する方や地域の人材を活用した授業や指導は、児童にとって大変魅力的なものです。今後も地域と連携しながら、児童の意欲と探究心が高まるように、そして充実した学習機会を与えられるよう工夫していきます。
	保 学校は、専門家や地域の人材を活用して、参加型体験学習に努めていますか。	100.0	100.0	97.5	99.0	
15	児 きっ子スポーツフェスティバルや学習発表会などの学校行事は、一生懸命がんばれましたか。	96.9	97.2	97.7	97.3	新型コロナウイルス感染症が5類に分類されたのを受け、できるだけ以前のような活動ができるよう対策を講じながら行事を開催してきました。全体的に非常に高い評価を得ており、学校行事は児童・保護者にとって有意義なものとなっていることが分かります。今後も、児童にとっての目標を明確にしなが、行事や内容の充実を目指していきます。
	保 学校行事には、できるだけ参加しようと努めていますか。	100.0	100.0	100.0	100.0	
16	児 学校からの配布物(学校便りや学級通信、保健便りなど)を忘れずお家の人に渡していますか。	96.9	94.4	84.1	91.1	引き続き、学校や子どもたちの情報を、学校便りや学年便り、広報誌やホームページ等を通じて説明し、理解をいただきながら、日々の教育活動に取り組んでいきます。特に昨年度から新しいホームページに変わったことにより、できるだけ細やかな情報発信ができるよう力を入れています。取組が保護者や地域の方々にも、配布物をきちんと渡せていない児童には、基本的な生活習慣を身につけさせる手立てとともに家庭との連携を図ります。
	保 学校便りやホームページ、学級通信、オープンスクールなどで学校からの情報が伝わっていますか。	93.1	93.8	95.0	94.1	

※95%以上:色付 80%未満:下線

【保護者アンケートより】

90% 未満	2:あいさつ 3:正しい言葉 4:進んで学習 7:スマホ・ゲーム等の時間 10:バランスのよい食事
90%~95%	9:学校のことを話す 16:配布物を渡す
95% 以上	1:学校楽しい 5:約束 6:友だちに親切 8:自分のことが好き 11:勉強で力がつく 12:田んぼの学校・外国語学習 13:小中一貫 14:スーパーアドバイザー 15:学校行事の頑張り

【児童アンケートより】

90% 未満	7:スマホ・ゲーム等の時間 8:自分のことが好き 9:学校のことを話す
90%~95%	1:学校楽しい 2:あいさつ 4:進んで学習 5:約束 10:バランスのよい食事 16:配布物を渡す
95% 以上	3:正しい言葉 6:友だちに親切 11:勉強で力がつく 12:田んぼの学校・外国語学習 13:小中一貫 14:スーパーアドバイザー 15:学校行事の頑張り